



がんばろう
ふくしま!

要約版（第2版）

生活空間における 放射線量低減化対策の手引き

▶ 詳細版は、福島県ホームページへ

tabiki1031

検索

このパンフレットは、県民の皆様が、子どもたちが通う通学路や住宅などの生活空間を除染するための方法や注意点をまとめたものです。皆様が直接除染活動を行う際の参考にしてください。

目 次

- 1 作業を始める前の準備..... P.1~3
- 2 除染・清掃活動の実施
 -  通学路等の除染・清掃活動..... P.4
 -  一般住宅等の除染・清掃活動..... P.5~6
- 3 除染・清掃活動による発生物の当面の処理方法..... P.7~8
- 4 その他 日常生活で注意すべきこと..... P.8

1 作業を始める前の準備

放射線量低減化対策を進めるにあたっての基本的な考え方

除染作業には、危険な作業や器物を破壊する恐れのある作業等がありますので、次のような除染作業は、専門事業者に依頼することを念頭に市町村に相談してください。

専門事業者に 依頼すべき事例

- 樹立では届かない高所での作業など作業の危険性が高い場合
- 重機など特別の機器が必要となる場合
- 文化的価値のあるものなど慎重に扱うべきものを除染する場合
- 放射線量が高く、安全に作業を行うことが難しい場合

服装や個人装備



基本装備

- ☐ 動きやすく通気性の良い服装
(長袖、長ズボン)
 - ☐ 長 靴
 - ☐ 布手袋(厚手等)
 - ☐ ゴム手袋
- } 重ねて着用
- (作業環境により、顔の上に覆カパーや足カパーを着用するもよい)
- ☐ 帽 子
 - ☐ マスク
(サージカルマスク、防塵マスク等)
 - ☐ タオル



作業場所や内容に
合わせた装備を

水を扱う作業

- ☐ カッパ
(高圧水洗浄作業は上下必須、
その他は下だけでも可)
- ☐ ゴーグル(めがね)

注意

内部被ばくを防ぐため、
マスクを着用し、土や砂の
吸い込みを防いでください。



除染・清掃活動で使用する用具と資機材

掃除用具

草刈り、表土はぎ … 草刈り機、スコップ、くわ
 せん定 … 剪定ばさみ、高枝切りばさみ
 収集 … ホウキ、ちりとり、ごみ袋、土のう袋
 運搬 … 集めたごみ等の運搬車両
 (トラック、リヤカー、一輪車等)

水洗浄用具

ホース、シャワーノズル、高圧洗浄機※、
 ブラシ（デッキブラシ、洗浄用ブラシ、高
 所用ブラシ等）、タワシ（亀の子、スチー
 ルウール製）、バケツ、洗剤（中性洗剤）、
 雑巾、キッチンペーパー

※電源、水源を事前によく確認しておきます。

その他

救急箱、飲料水、ポケッ
 ト線量計※（作業時の
 被ばく管理用）など

※ポケット線量計：作業中
 の積算線量が計れるもの



サーベイメータ※の操作方法・注意点

- ① 説明書の確認 サーベイメータを用意し、取扱説明書をよく読みます。
- ② 汚染の防止 サーベイメータ本体に放射性物質が付着しないようビニール袋に入れます。また、測定の際には土砂等に直接触れないようにします。(写真-1)
- ③ 測定する前に 電源を入れて数十秒程度待ち、測定を開始します。(写真-2)
- ④ 記録を取る 測定した位置が後からわかるよう、地図や記録用紙に記入します。

※サーベイメータ：時間あたりの空間放射線量を測る計測器。
 単位はマイクロシーベルト/時間



(写真-1) ビニール袋は家庭で使う普通のものです。



(写真-2) 機種によっては、安定するまでの時間などが表示されます。

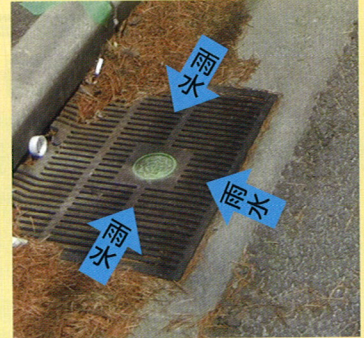
測定場所と測定方法

測定場所

- 最初に、玄関先などの線量の低い場所で測定し記録します。(バックグラウンド※の計測)
 ※周辺の一般的な値
- 通学路等は、土砂や落ち葉が堆積した排水溝や側溝、雨樋、雨樋の直下、苔、道路の脇で雨水により土砂が堆積している箇所などに放射性物質がたまりやすいので、測定を実施します。
- 一般住宅等は、雨樋の集水器などに落ち葉等が堆積しやすく放射性物質がたまりやすくなります。また、雨樋から雨の落ちる軒下、植栽の根元などにも局所的に放射性物質が集まります。
- そのほかにも付近の代表的な箇所で測定を行ってください。



雨樋からの排水先に落ち葉や土砂が堆積している例



雨水で道路脇に落ち葉や土砂が堆積している例



雨樋の集水器



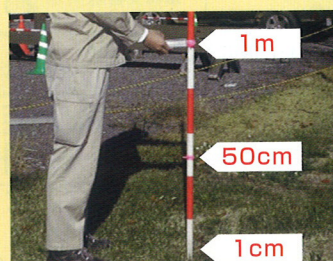
軒下



植栽の根元

測定方法

- 放射線量の高い箇所での測定は、測定対象の表面（1 cm）及びその直上 50 cm、1 m の場所とします。
- 数十秒（20 秒～ 30 秒程度）は同じ場所で動かさずに測定します。
- 1 m は大人への影響をみる高さ。50 cm は子どもへの影響をみる高さです。



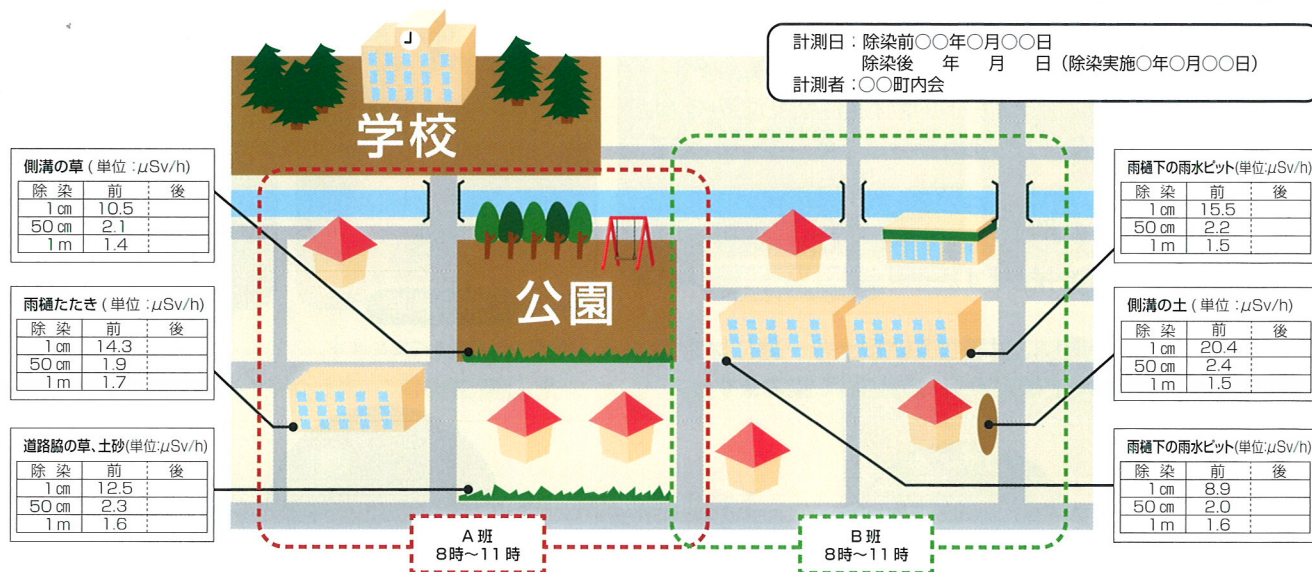
定規やひもに目印を付けて表面からの高さを測りながら測定します。

測定と除染結果の記録

- ①測定結果と除染結果のマップを作り、除染や清掃を行う箇所を選定し、作業計画を立てます。特に、周辺より放射線量の高い箇所の明示が大切です。
- ②後で除染活動を実施する際に除染する箇所が分かるように、目印を付けておくことで作業が容易になります。

測定・除染マップと作業計画の記入例（通学路等）

※ $\mu\text{Sv/h}$ =マイクロシーベルト/時間



- 手書きや既存の地図等に計測した場所とデータを書き込みます。
- 下記を目安におおよその除染作業時間を設定します。なお、作業範囲が広い場合等は、無理なく除染作業を行うため複数の範囲に分けて計画します。

(参考) 実証実験でのおおよその除染時間

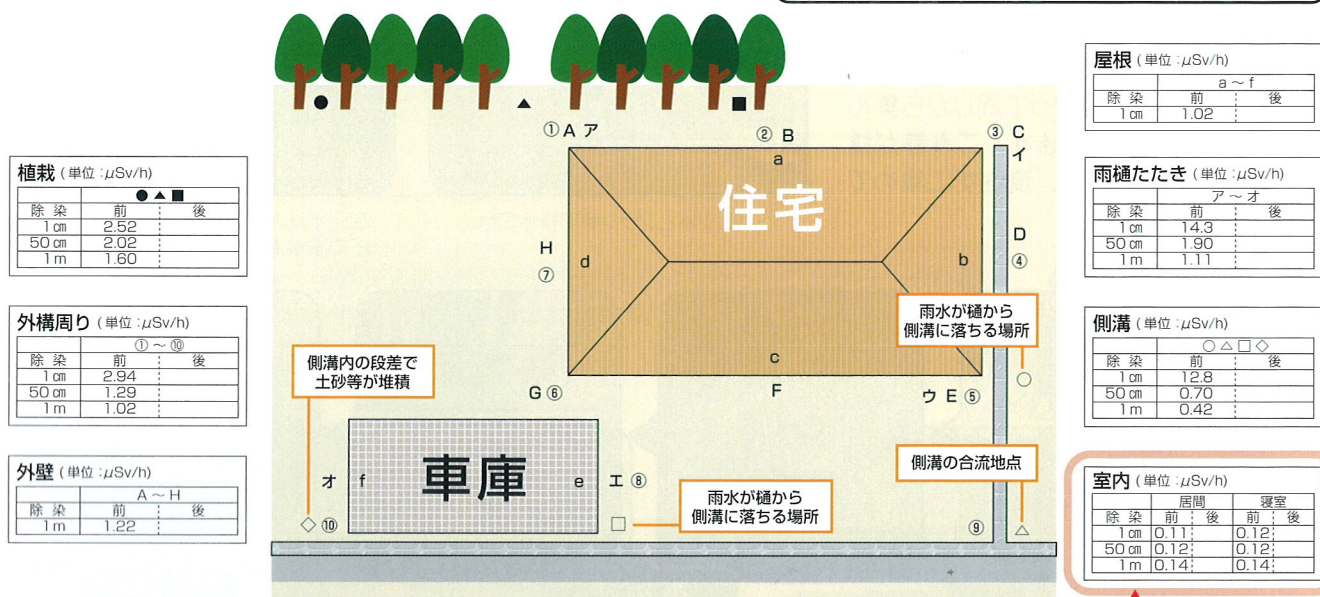
- ・ポイント1か所あたり 20 分程度
- ・通学路 100m あたり 30 分程度

※草・土砂などの量や場所の状況によって大きく変動するので、測定の際にあわせて下見をしておくことが望ましいです。

測定・除染マップと作業計画の記入例（一般住宅等）

※ $\mu\text{Sv/h}$ =マイクロシーベルト/時間

測定する箇所は、屋根、雨樋、たたき側溝、植栽、外構まわり、外壁などに分けてデータを記入してください。



- 手書きや既存の設計図等に計測した場所とデータを書き込みます。
 - 雨樋や軒下、スポット的に線量が高いと思われる場所を考慮して線量の測定を実施します。
 - 室内についても線量を測定し、除染前後の効果を確認しましょう。
- ※屋根など脚立では届かない高所での作業は、危険を伴いますので専門事業者に依頼してください。



通学路等の除染・清掃活動

作業は、① 清掃（落ち葉・ごみ等を取り除く作業）、② 水洗浄（デッキブラシ、洗浄用タワシ、高圧洗浄機を使った洗浄）の順序で行います。

1 清掃

- ① 掃く作業、拭く作業は、周囲へ飛び散らさないよう、取り除くことを基本に作業を行います。
- ② 草刈りとごみ集め、取り残したごみを掃き集めます
- ③ 排水溝、側溝やコンクリートの割れ目などのごみ等水が流れたところや雨だれのある部分は丁寧に取り除きます。

上記のほか、ガードレールなど子どもが手を触れる箇所は適宜、拭き掃除を行います。タワシ、雑巾やキッチンペーパーなどで、表面を拭きます。

ポイント

除草は根とその周りに付着している土も一緒に引き取り、草は可燃ごみ、土は土砂等に分別して集めます。



掃き掃除

竹ぼうきで大きく集めます。



ポイント

除草



落ち葉等の除去（集めて丁寧に取り除く）



土砂等の除去（外側から内側へ）



除染終了

2 水洗浄

- ① デッキブラシや洗浄用タワシ、高圧洗浄機を用いて洗浄を行います。洗浄水が流れる経路を事前に確認し、排水口に向かって周りから集めていくように洗います。ごみ等が排水口にたまったら、流さずに集めて取り除きます。



バケツ水とブラシ等で排水口へ



高圧水洗浄では、最初は通常の水压で排水溝までの水の流れを確認。



落ち葉等の除去（集めて丁寧に取り除く）



水洗浄



除染終了

ポイント

水洗浄により土砂等に付着している放射性物質が飛び散るので作業をする人への跳ね返りや周囲に水がかからないように注意して作業を行います。また、必ず外側から内側へ集めるように作業を進めてください。